

麦類赤かび病に関する情報(第4報)

令和6年4月17日

香川県農業試験場病害虫防除所

麦類赤かび病は、その病原菌が毒素を生成することから、麦類の重要病害虫に位置付けられています。麦の開花期～乳熟期が赤かび病菌に感染しやすくなる時期で、これからの時期の天候が発生の多少に大きく影響します。すなわち、開花期頃の気温が高く、高湿度の日が連続すると多発生しやすくなります。

最も重要な防除時期は開花始めの頃とその7～10日後です。時期を見極めて適期に防除しましょう。なお、本情報の開花期予想は綾川町（本県内陸部）における予測であり、平野部～海岸部ではこれより早くなるので注意してください。

1. 麦類の生育状況

農業試験場における小麦‘さぬきの夢 2009’の11月中旬播種の予想開花期は4月16日で、平年よりも1日遅いと予想されます（表1：農業試験場作物・特作研究課調べ）。

表1 麦類の出穂及び開花の状況（農業試験場作況試験圃場：綾川町）

（4月15日時点）

| 麦種 | 品種 | 播種期 | 出穂期 | | 開花期 ^{注1)} | |
|------|-----------|-------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| | | | 平年値 ^{注2)} | 本年 ^{注3)} | 平年値 ^{注2)} | 本年 ^{注3)} |
| はだか麦 | イチバンボシ | 11月上旬 | 3月24日 | 3月21日 | 3月31日 | 3月31日 |
| | | 11月中旬 | 3月28日 | 3月31日 | 4月4日 | 4月5日 |
| | | 12月上旬 | 4月4日 | 4月5日 | 4月10日 | 4月10日 |
| 小麦 | さぬきの夢2009 | 11月上旬 | 3月27日 | 3月27日 | 4月10日 | 4月12日 |
| | | 11月中旬 | 4月3日 | 4月4日 | 4月15日 | 4月16日(予) |
| | | 12月上旬 | 4月12日 | 4月12日 | 4月23日 | 4月23日(予) |

注1) 開花期は40～50%の穂が開花する時期を示す。

注2) 平年値は平成26年播き～令和4年播きの9か年の平均値である。

注3) (予)を付して赤字で示した日付は、綾川町における予想値である。

2. 気象経過と赤かび病発生条件の出現状況（別表参照）

- 4月16日現在、高松市アメダスのデータをもとにすると、子のう胞子の飛散好適日が3月29日、3月30日、3月31日、4月1日、4月3日、4月4日、4月7日、4月8日、4月15日に出ています。
- 高松地方气象台発表の4月13日～4月19日までの週別の平均気温と天候によると、平均気温は平年より高く、平年と同様に晴れの日が多い予報です。

3. 防除情報

- 現在、赤かび病に適用のある薬剤は、発病前に散布しないと防除効果がないため、開花始期には必ず防除を実施しましょう。
- 気象経過に注意しつつ、追加防除の時期を決めましょう。

表2 赤かび病の防除時期、防除薬剤等

| | 防除時期 | 防除薬剤 | 希釈倍数 | 使用時期／回数 |
|-----|------------|-------------|---------------|----------------------------------------------------------|
| 1回目 | 開花始め頃 | トップジンM水和剤 | 1,000～1,500 倍 | 小麦：収穫14日前まで／ 出穂期以降は2回以内 はだか麦：収穫30日前まで／ 出穂期以降は1回 |
| 2回目 | 1回目の7～10日後 | ワークアップフロアブル | 2,000～3,000 倍 | 小麦：収穫7日前まで／ 3回以内 はだか麦：収穫7日前まで／ 3回以内 |

(資料：小麦、はだか麦の栽培しおり)